

assignment

1. エントランス/受付機能の充足
2. 企業理念/新しい企業の方向性の表現



○課題解決に向けた5つの提案

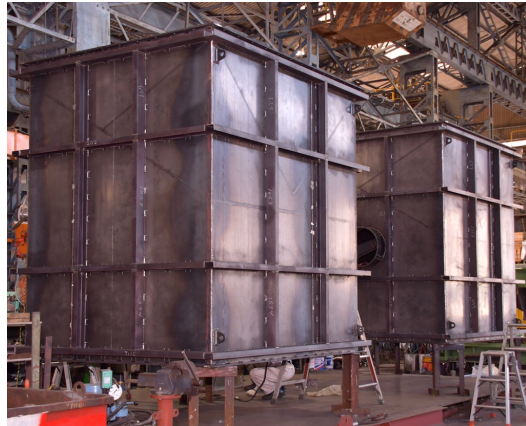
1. 鉄 — K社自らで製作する鉄の什器とタワー
2. 布 — 新しいK社のイメージを形づくりエントランスの雰囲気を整える布
3. 緑 — 環境への姿勢を示唆し空間に潤いをもたらす植栽
4. 展示 — K社を紹介/PRするプロジェクション/展示コーナー
5. CI — 社名を変えずして企業イメージを刷新するリブランディング



1. 鉄

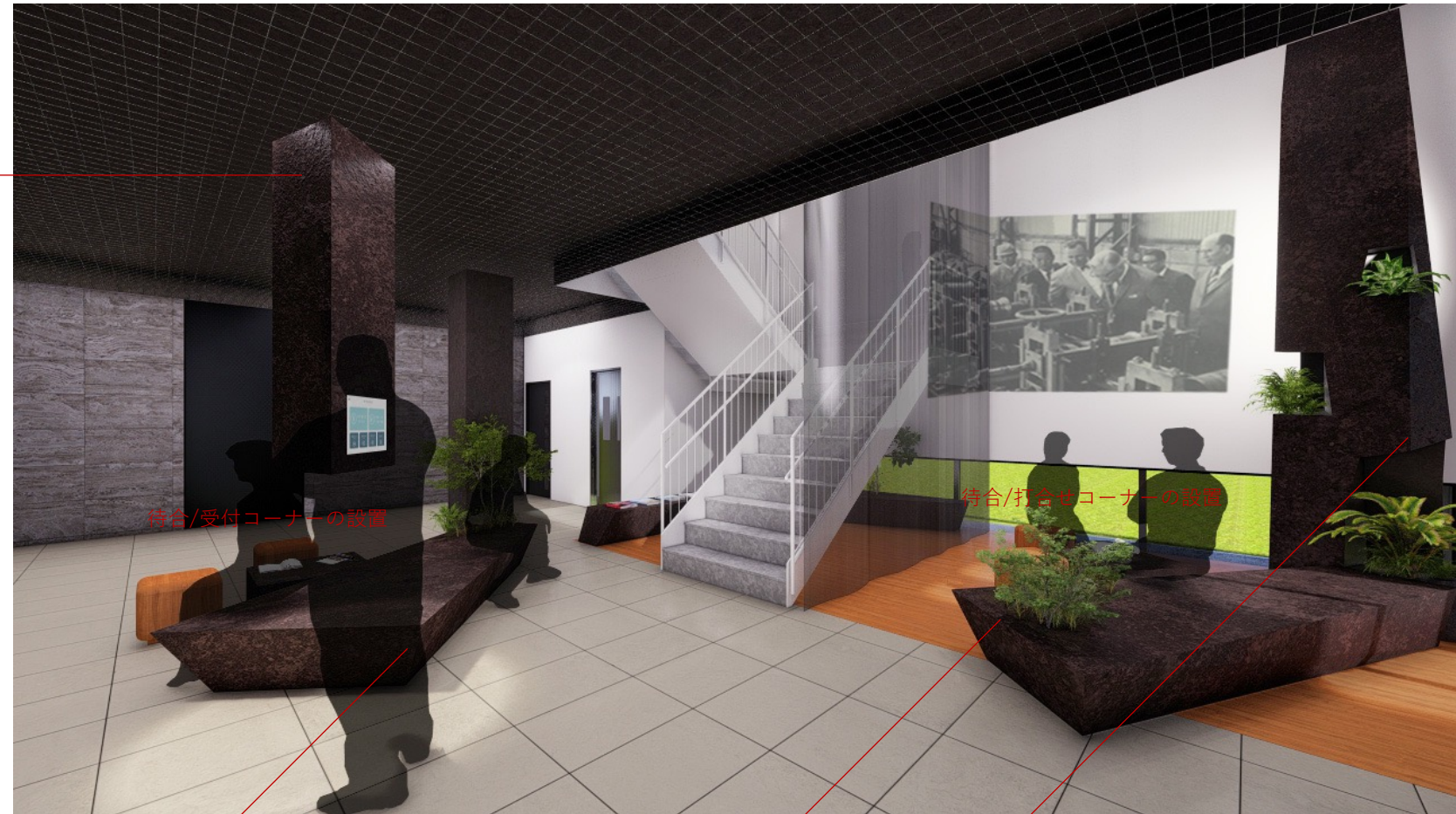
溶接技術を活かして鉄製の什器をK社自ら製作・設置し、100年以上の歴史で培われた同社の技術を伝える。
またエントランスの吹抜けを空間を活かし、同じく鉄製のタワーを製作・設置し、新しいシンボルとする。

- タブレットを組み込んだ受付システムを設置
- ・wifi設置を前提にクラウド受付システムを想定
参考：レセプションリスト
<https://receptionist.jp>
 - ・警備室にて1次対応を行った上で、
エントランスにて来訪者が受付処理をし、
面会者を呼び出す



※テクスチャイメージ

鉄製ベンチの設置により待合/打合せコーナーを形成する



待合/受付コーナーの設置

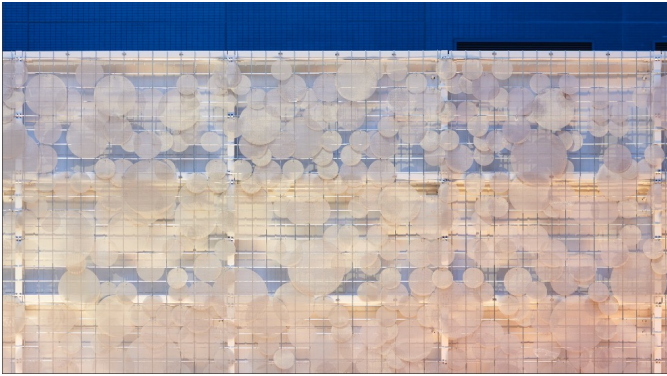
待合/打合せコーナーの設置

鉄製タワーを設置しエントランス空間のシンボルとする
(プロジェクター格納スペース、植栽ポット等に利用)

2. 布

ステンレス製金属皮膜のレースを階段脇と窓際に施し、「軽くて柔らかい鉄」のイメージをもって未来のK社の姿を印象付ける。また既存天井に変え、密度感のあるワイヤーメッシュ天井とし、ユニークな光や距離感を付与する。

天井には金属のグリッドにステンレスメッシュを密に施し
軽さと奥行きのある表情をもたせる



階段脇に2層分の「軽くて柔らかい金属」としての
ステンレスメッシュを吊り下げて領域に変化を与える



鉄製ベンチの設置により待合/打合せコーナーを形成する

鉄製什器やタワーに植栽ポットを設けてエントランス全体に緑を配することで、空間に潤いを与える。
また環境関連事業への関わりを通じて地球環境の未来に貢献する姿勢を想起させ、企業イメージの向上につなげる。

- ・緑を入れることで、見た人のリラックス効果、緊張を和らげる効果を期待
- ・地域性を表現する為、一部に在来種、四季を感じる植物の取入れを検討



観葉植物イメージ



在来種イメージ



観葉植物 + 在来種イメージ



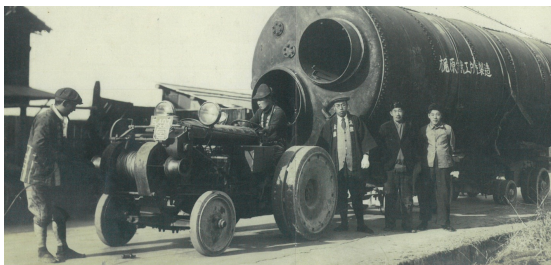
四季の植栽



4. 展示

シンボルタワー上部にプロジェクターを設置し、白壁にK社の沿革や未来の取組みを発信する映像を投影する。
あわせて階段下のスペースにベンチ兼展示台を設置して展示コーナーとし、チラシやパンフレット、書籍、展示物等を置く。

プロジェクションによる映像展示
既にあるコンテンツを用いるか、新たにコンテンツを制作するか等、
協議の上で方針を決定。
(映像コンテンツ制作会社も提案可能)



※使用しなくなった旧式の製作機器等があれば設置も検討

ベンチの一部を展示台として利用可能
K社のパンフレット、チラシ、冊子等を置き、
来訪者が待ち時間に見れるようにする



※展示計画については方針確定後に検討

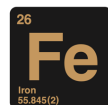
製造主軸からエンジニアリング主軸へ向かう変化期にして社名を変更することなく、ロゴマークの再考や新たなキャッチコピー等を通じてリブランディングを行う
またエントランスへの新たなブランディング要素の配置等を通じて、新たな企業イメージの発信を強化する。

印象に残るロゴマークの設置

新たなCI体系の策定



既存外装、ポーチ等のサイン変更も検討



ストूलなどに梶原鉄工所を連想させる
キャッチーなデザインを施す